|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業展開例No.8 | 学年 | ４ | 教科 | 音楽 | 本時 | １／２ | 実施月 | ６ |
| 単　元 | まとまりのあるリズムを作ろう |
| 本時の目標 | 簡単なリズムを組み合わせ、まとまりのあるリズムを作る。 |
| 使用ソフトウェア | ＜ビジュアルプログラミング＞　スクラッチ |
| プログラミング的思考力との関連 | 音符に合ったブロックを論理的に組み立てる。 |

展開

|  |  |
| --- | --- |
|  | 学　　習　　活　　動　　　　　　　　※教師の支援　◆思考ツールの活用　☆評　価 |
|  2040 | 　まとまりのあるリズムを作ろう〇　Ｄのリズムをプログラミングしよう・四分音符の長さは１拍だから、八分音符は０.５だ・コピーすると簡単だよ※各リズムの特徴をとらえられるように、各リズムをタタタンタタタンというように、視覚、動作、発声で体感する活動を入れる。　・実行してみよう　・Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄのリズムが演奏されるよ　　　　　　　　　四小節分のリズムを作ろう　・Ａ～Ｄを４つ組み合わせればいいんだね◆リズム進行を明確にするためにフローチャートを用いる。　・「くりかえす」を使うと便利だよ　・演奏させてみよう※次時に発表できるように、名前をつけて保存するように指示する。　・Ｂを多く使うと元気よく感じるね〇振り返りをしよう☆いくつかのリズムパターンを組み合わせ、まとまりのあるリズムを作ることができたか。（プログラム・演奏結果）step |